

ホシザキ電の給与システム

電通国際情報が刷新

三菱総研と

電通国際情報サービス（ISID）は三菱総研DCS（東京都品川区）と連携し、ホシザキ電機の人事給与システムを刷新した。ホシザキ電機が国内グループ会社16社の人事給与業務を集約するに伴い、ISIDの人事給与ソフトウェア「ポジティブ」を用いて同システムを構築。従業員約7500人を管理する。

ホシザキ電機は今後、グループ各社の就業管理業務も集約し業務効率化を進める。ISIDは、ホシザキ電機がグループ各社の人事給与業務を担当する部門を新設したのに合わせて、同システムを構築した。その際に、人事給与業務のアウトソーシング（外部委託）サービスなどを提供する三菱総研D

CSのノウハウを活用した。構築した新システムは、給与明細書や源泉徴収票、年末調整の申告書をウェブを通じて公開・入力できる。これら書類を印刷・配布していた従来方法に比べて、作業工数を約50%減らした。業務負荷を軽減したほか、「使用する紙の削減にもつながる」（ISID）としている。

ホシザキ電機は新部門設置による人事給与業務の抜本的な見直しと、同システム構築を並行して推進。1年の短期間で達成する計画を立案したため、同業務に強みを持つISIDの人事給与ソフトの採用を決めた。ISIDでは今後も人事給与業務の見直しや企業グループ全体での集約に伴って人事給与システ

ムを刷新する案件の増加を見込んでいる。自社製品のポジティブを今後3年間で100社に提供す

ることを目指す。またポジティブをネットワーク経由で提供するクラウドコンピューティ

ングサービスも2月から提供。クラウドでは中堅企業を中心に開拓を狙う。